



ふじみだい

考えることを止めない！

副校長 足立 渉

秋晴れのさわやかな空の下、「2020ふれあい運動会」が行われました。

コロナ禍の中、例年のように全校が集う運動会ではありませんでしたが、今できることを子どもも職員も、そしてPTA本部の皆様も真剣に考えて準備した結果、無事に開催できた運動会でした。保護者の方には時期の変更があったり、各家庭一人のみの参観をお願いしたりとご迷惑をおかけしました。また、地域、来賓の皆様には三密を避けるためにお招きすることができませんでした。あらためてお詫び申し上げます。当日の様子やそれまでの過程は、学校ホームページの「学校日記 令和2年度」に載っております。そちらを見ていただければ幸いです。



6年のあるクラスの運動会前日の学級通信に次のようがありました。

「運動会の活動がスタートして子どもたちと一緒に話し合いながら計画を立ててきました。はじめは本当に手探り状態でありましたが、子どもたちの「**ピンチをチャンスに変える！**」「**こんなときだからこそみんなで力を合わせて乗り越える！**」「**最高の運動会にする！**」という前向きな気持ちと豊かな発想力で、様々なアイデアが生み出されました。子どもたちと私たちにとって、今年の運動会は大きなチャレンジでありました。

例年通りにいかないからこそ新たなものを「創造する」必要がある。

新たなものを創造するには、みんなで「知恵を出し合う」必要がある。

みんなで知恵を出し合い実現するためには「協力する」ことが必要になる。

そのような大切なことを子どもたちの姿から改めて気付かされた一か月でした。運動会までに過ごした日々は、子どもたち、そして私たち教師にとっても忘れられないものとなりました。ここまで努力してきた子どもたちを、担任として誇りに思います。」

6年担任の言葉ですが、どの学年、どの職員も同じように感じています。終わりの言葉を言った実行委員長の話にも同じような言葉がありました。(別紙参照) 子どもたちの多くも、例年通りにならないからこそいろいろ考え、知恵を出し合い、協力して取り組むことの大切さを実感できたのではないのでしょうか。ほぼゼロからこの運動会を創り上げた子どもたち、職員、PTAなど、全てのかかわった皆様を誇りに思います。本当にありがとうございました。

11月21日(土)は、「ふれあいフェスティバル」があります。できないことはありますが、運動会のように皆で考えを出し合い、今できる最良のものを創っていきます。答えのない課題に対して取り組んだ解決への過程を、子どもも私達教職員一同今後も大切に、最良の道を考えることを止めないでいきます。